

トリノオリンピック・高橋大輔君を応援する会 概要

- 1 日 時 2月15日(水) 午前3時~ 男子シングル ショートプログラム
2月17日(金) 午前3時~ 男子シングル フリースケーティング
- 2 場 所 関西大学千里山キャンパス
総合学生会館「メディアパーク凜風館」1階 学生ラウンジ
吹田市山手町3-3-35 (阪急電車「関大前駅」下車、徒歩約15分)
- 3 参加者 (予定) 文学部長 芝井 敬司(しばい けいじ)
学生センター所長 黒葛 裕之(くろくず ひろゆき)
学生サービス事務局長 吉村 亮二(よしむら りょうじ)
体育会アイススケート部監督 谷口 勝久(たにくち かつひさ)
体育会アイススケート部 織田 信成(おだ のぶなり)(文学部1年次生)
体育会アイススケート部部員、その他、学生・教職員
- 4 スケジュール 2:00 集 合
2:30 応援会開始
学歌斉唱
学生センター所長挨拶
文学部長挨拶
体育会本部長挨拶
応援団副団長挨拶
2:50 テレビ観戦開始
3:00 競技開始
3:30 高橋大輔君演技終了・得点発表後、応援会終了(予定)

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6337-7078

<http://www.kansai-u.ac.jp>

高橋大輔君プロフィール

氏 名 : 高橋 大輔 (たかはし だいすけ)
生年月日 : 1986年3月16日 (19歳)
在 学 : 関西大学文学部総合人文学科身体運動文化専修 2年次生
出 身 : 岡山県倉敷市
出身高校 : 私立倉敷翠松高等学校
身 長 : 165cm
体 重 : 59kg
血 液 型 : A型
コ ー チ : 長光 歌子 (ながみつ うたこ)
振 付 師 : ニコライ・モロゾフ
成 績 :

2001-2002	2001年12月	全日本ジュニア選手権	優勝
	2002年3月	世界ジュニア選手権	優勝
2003-2004	2003年12月	全日本選手権	3位
	2004年3月	世界選手権	11位
2004-2005	2005年2月	四大陸選手権	3位
	2005年3月	世界選手権	15位
2005-2006	2005年10月	ジャパンインターナショナルチャレンジ2005	2位
	2005年10月	GPシリーズ第1戦 スケートアメリカ	優勝
	2005年12月	GPシリーズ第6戦 NHK杯	3位
	2005年12月	GPファイナル	3位
	2005年12月	全日本選手権	優勝

関西大学アイススケート部について

1955年(昭和30年)に創部し、今年で51年目を迎える。過去に佐藤信夫と大川久美子(現姓佐藤)という2名のオリンピック選手を輩出した伝統と実績を持つ。昨シーズンは、フィギュア男子、スピードスケート女子ともに関西インカレで総合優勝を達成。

現在、トリノオリンピック出場の高橋大輔(文学部2年次生)のほか、2006年四大陸選手権優勝の織田信成(文学部1年次生)、日本学生レベルの平井絵己(経済学部1年次生)などが在籍。

創 部 1955年(昭和30年)
部員数 19名(男子10名、女子9名)

関西大学 歴代オリンピック出場選手について

回	開催年	開催国	氏名(卒業データ)	種目	成績
10	昭和7(1932)	ロスアンゼルス(アメリカ)	大島鎌吉(S9 大法)	陸上・三段跳び	銅メダル
			長尾三郎(S11大法)	陸上・ヤリ投げ	10位
11	昭和11(1936)	ベルリン(ドイツ)	大島鎌吉	陸上・三段跳び	6位
			長尾三郎	陸上・ヤリ投げ	
			谷口睦生(S14大法)	陸上・短距離	
			福田時雄(S13大法)	陸上・400mハードル	
			戸上研之(S14大経)	陸上・走幅跳	7位
			古田康治(S8入学)	陸上・110mハードル	
16	昭和31(1956)	メルボルン(オーストラリア)	園田裕四郎(S30 学1経)	陸上・走幅跳	
			古川好男(S32学1法)	サッカー	
17	昭和35(1960)	ローマ(イタリア)	市口政光(S37学1英)	レスリング	7位
			重岡完治(S32学1経)	レスリング	
			佐土市良(S38学1経)	ホッケー	14位
18	昭和39(1964)	東京(日本)	市口政光(S37学1英)	レスリング	金メダル
19	昭和43(1968)	メキシコシティ(メキシコ)	市口政光(S37学1英)	レスリング	
20	昭和47(1972)	ミュンヘン(西ドイツ)	小島孝治(S28学1商)	女子バレー	
24	昭和63(1988)	ソウル(韓国)	若原 尚(S42学1商)	馬術	
28	平成16(2004)	アテネ(ギリシャ)	山田沙知子(文学部4年次生)	水泳	
			下小鶴綾(文学部4年次生)	女子サッカー	

(冬期オリンピック)

回	開催年	開催国	氏名(卒業データ)	種目	成績
4	昭和11(1936)	ガルミッシュ・パルテンキルヘン(ドイツ)	大石雄一郎(T15専商)	フィギュアスケート	
8	昭和35(1960)	スコーパーレー(アメリカ)	佐藤信夫(S39学1経)	フィギュアスケート	14位
9	昭和39(1964)	インスブルック(オーストリア)	佐藤信夫(S39学1経)	フィギュアスケート	8位
			大川久美子(S43学1商)	フィギュアスケート	13位
10	昭和43(1968)	グルノーブル(フランス)	大川久美子(S43学1商)	フィギュアスケート	8位
19	平成14(2002)	ソルトレークシティ(アメリカ)	三宅陽子(H11学1中)	スノーボード	8位

…現役で出場した選手

文学部総合人文学科について

文学部は2004年4月、以前の8学科を総合人文学科(1学科10専修)へ一本化する組織改革を行いました。これによって、学科の枠を越えた総合的な学びが可能になり、科目選択の自由度が大幅に増しました。また学生募集についても、かつての学科別募集ではなく、文学部として一括募集を実施。入学後の1年間でさまざまな学びの可能性を体験して、専門的に学びたい分野をじっくり選べます。入学前に想像していた学びの内容と、実際に学ぶカリキュラムとの間にギャップがあった場合にも、十分対応できます。

なお、2006年4月からは新たに5つの専攻がスタートし、1学科15専修となります。

文学部総合人文学科身体運動文化専修について

身体運動文化専修を選択する学生は、専門科目として文学部で開設する「インターファカルティ教育：生涯スポーツ・身体運動文化コース」のカリキュラムを履修します。スポーツとからだの問題を通して21世紀型人間関係行動学を学びます。

関西大学における「インターファカルティ教育」はそれぞれの学部教育を補完する制度として2003年度から始まりました。日本社会における「現代的スポーツ文化・伝身的身体運動文化・生活的健康福祉文化」はもはや従来のように体育やスポーツや健康という単独領域の研究対象にとどまっていません。社会のニーズに見合っただけで専門分野の研究対象となっています。それほどまでに日本の社会動向は大きく変わってきています。関西大学では、この時代要請を重視して、インターファカルティ教育「生涯スポーツ・身体運動文化コース」というユニークで新しい学びの様式の間を開設しました。文学部では、21世紀社会に求められる新しい人間像を探るために「人間とは何か」をテーマにして、多彩な教育研究を行っています。文学部における「身体運動文化専修」では、その多彩な文学部の専門教育並びに全学共通教育としての教養教育との密接な連携のもとに、21世紀社会に求められている「現代的スポーツ文化・伝身的身体運動文化・生活的健康福祉文化」の発展に貢献できる幅広い学際的総合型の人材の育成をめざしています。

カリキュラムについて

身体運動文化専修では、実践的教育・研究を重要視しています。1年次には少人数担任制のチュートリアルクラスで学生生活全般にわたるサポートを受けながら、基礎的な科目を履修します。2年次から始まる専門科目群は、講義形式で行う「基幹科目群」、演習形式の「実践研究科目群」、理論+実習の「課題研究科目群」を軸に履修していきます。4年次には「課題研究科目」を通して卒業論文を作成します。また、授業の組み合わせ方によって各種の公認指導員資格の取得も可能です。

このようなカリキュラムを履修することで、21世紀社会に求められる「トータルフィットネス社会」の創造者、「トータルライフ設計」の開発者としての資質を磨くことができます。

関西大学「アイスアリーナ」建築について

関西大学では本年7月、高槻キャンパス第2グラウンドに、国際競技規格の通年型アイススケートリンク「アイスアリーナ」を竣工する予定です。

本学の体育会アイススケート部およびアイスホッケー部は、これまで高槻市内の私設スケートリンク「高槻 O2 スケートリンク」を練習場としていましたが、同スケートリンクが2004年11月末に閉鎖されたため、やむなくそれ以降は近隣のアイススケートリンク（大阪府立臨海スポーツセンター、アクアピアアイスアリーナなど）で練習場の確保を図ってきました。

しかしながら、それらのアイススケートリンクは、すでに他大学チームや社会人チームなどの利用で飽和状態となっているため、本学がそこに割り込んで利用することは非常に困難な状況にあり、両クラブの活動に著しく支障をきたしていました。両クラブには現在、世界レベルあるいは日本のトップレベルの選手が在籍しているなか、この状況を何とか打開できないかとの声が学内から起こり、本学卒業生の連絡機関として組織されている関西大学校友会から過分の財政的支援の申し出もあったので、学内の関係諸機関に諮り、種々意見を聴いた結果、建築に踏み切った次第です。

「アイスアリーナ」の完成後は本学アイススケート部およびアイスホッケー部をはじめ、関西大学第一高等学校アイスホッケー部の活動拠点となるとともに、現在、本学と同様、練習場の確保に苦慮されている他大学等のクラブに対しても、可能な限り開放する予定です。併せて、近隣の小・中・高等学校の課外行事での利用などに対しても施設を積極的に開放することで、社会貢献の一翼を担うことにしています。

< 建築概要 >

建物名称	「関西大学高槻キャンパス アイスアリーナ」(仮称)
施設内容	通年型アイススケートリンク
建築場所	関西大学高槻キャンパス 第2グラウンド 所在地 / 〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
構造	鉄骨造陸屋根2階建て
延床面積	約3,600平方メートル
競技場規模	縦60メートル×横30メートル(フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート・ショートトラックの公式試合の開催が可能)
観客席数	518席
製氷方式	省エネルギー性能が極めて高い、世界初のガス小型熱源集中設置・運転台数制御方式 < GHP[ICE RINK] システム(Gas Heat Pump Ice Control Eco-system Reducing Investment by Non-Step-program at Kansai univ.) (大阪ガス提案) > を採用する予定。従来の一般的なシステムに比べ年間の製氷エネルギーが約10%節減でき、Co2も27%削減できる、地球環境に配慮した画期的なシステムを採用
予定工期	2005年10月17日から2006年7月13日
使用方法	関西大学アイススケート部およびアイスホッケー部の練習 関西大学第一高等学校アイスホッケー部の練習 他大学や地域社会への施設開放